

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)			
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)	3	妥当性評価
事務事業名			内 直接事業費	4	有効性評価									
			内 人件費	5	効率性評価									
1	農業の振興		農業経営基盤強化促進法に基づき農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図る。	15,829,490	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 農業経営基盤強化促進法に基づき農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図る。 農用地利用集積計画(農地の売買・貸借)の策定。 	耕作放棄地所有者に対してアンケート調査を実施して、耕作放棄地の農地バンクへの登録希望を確認し、希望する農地を農地バンクに登録した。	農地の貸し手・借り手の情報をより早く把握して、農地の有効利用を図る。		
	30101020			2,315,000	1	農業委員会事務局								
	農地利用集積促進支援事業			13,514,490	2	菟田 尚史								
		20,088,630		3	普通									
		2,215,000		4	普通									
		17,873,630	5	普通										
		改善の効果		普通										
2	農業の振興	効率的な農地利用を促進するため、耕作放棄地対策、後継者育成等農家への支援を行うとともに、市民の農業への関心を高める企画・運営等を総合的・計画的に行う。	33,873,327	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 農地バンク事業においては、簡単に耕作再開できるような農地が減ってきている。 農家の高齢化等により使用されない園芸施設の荒廃の抑制を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業の活用により、農地の有効利用の促進、規模拡大農家への支援を行なった。 園芸施設流動化の仕組みづくりに向けて、県、JAと調整を図った。 	耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業が5年間延長されたため、引き続き農地の再生のための事業のPRを図る。 園芸施設バンクの構築により、施設の荒廃の抑制と農家への支援を推し進める。			
	30101030		4,676,979	1	産業振興部 営農支援課									
	営農支援センター管理運営事業		29,196,348	2	寺田 昭一									
			38,908,201	3	高い									
			4,792,785	4	高い									
		34,115,416	5	普通										
		改善の効果		高い										
3	農業の振興	地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図ることを目的に、地域ぐるみで行う草刈、浚渫等施設の維持管理を行う共同活動、及び施設の長寿命化のため補修更新等を行う向上活動を支援する。	40,106,249	事務事業評価					活動組織により農道、水路等の草刈、泥上げ等の実施により、農業用施設の維持管理に対応した。	活動組織に対して、訪問回数を増やし適正に指導した。	平成26年度より農地・水保全管理支払交付金から多面的機能支払交付金への変更に伴い事業内容の説明が必要となる。			
	30101040		30,049,680	1	産業振興部 農政課									
	農地・水・環境保全向上対策支援事業		10,056,569	2	石川 恵史									
			39,709,153	3	高い									
			30,086,467	4	高い									
		9,622,686	5	普通										
		改善の効果		普通										
4	農業の振興	農業生産性の向上と営農経費の節減を図るため、排水路整備、農道整備等を行う農地基盤整備事業を支援する。	59,458,585	事務事業評価					県営事業で行われる農地基盤整備事業に対して、地元との調整をした。	県、地元、土地改良区との調整により、事業の適正な執行を図った。	事業の適正な執行を図るため、県、地元、土地改良区との調整を行い事業の早期完了を図る。			
	30102010		57,701,594	1	産業振興部 農政課									
	畑地帯総合農地整備促進事業		1,756,991	2	石川 恵史									
			31,092,065	3	高い									
			29,212,758	4	高い									
		1,879,307	5	普通										
		改善の効果		普通										
5	農業の振興	農業の生産性の向上、災害防止及び国土の保全を図るため、道路、排水路、その他の土地改良施設の整備を行う。また、土地改良区が事業主体の単県土地改良事業、単独土地改良事業の支援、及び過年度に行われた農道舗装についての地元負担分の農道舗装事業借入金の償還を支援する。	165,521,822	事務事業評価					土地改良区の土地改良施設に対して要望どおり対応が出来ないため、施設の緊急性、有効性及び効率性を考慮して地区選定している。	土地改良区が事業実施にあたり緊急性及び必要性を考慮しながら事業実施した。	多面的機能支払交付金により施設の長寿命化に努める。			
	30102060		161,407,162	1	産業振興部 農政課									
	土地改良施設整備事業		4,114,660	2	石川 恵史									
			162,822,722	3	普通									
			159,451,989	4	普通									
		3,370,733	5	普通										
		改善の効果		普通										
6	農業の振興	土地改良施設の適正管理を行うとともに、小規模災害等に適応するため、土地改良施設の維持管理を行う。また、土地改良区が事業主体となって土地改良施設維持のために単県土地改良事業等を支援する。	40,447,381	事務事業評価					農地・水・環境保全向上対策支援事業と連携して事業を実施した。	土地改良施設の維持管理に当たり農地・水・環境保全向上対策支援事業で実施可能なものは地域にて実施してもらった。	多面的機能支払交付金により実施可能なものは地域にて実施してもらった。			
	30102090		35,944,409	1	産業振興部 農政課									
	土地改良施設維持事業 (30102090,3010210)		4,502,972	2	石川 恵史									
			42,038,000	3	普通									
			38,637,452	4	普通									
		3,400,548	5	普通										
		改善の効果		普通										
7	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、降雨時の排水機の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器のオーバーホール及び交換等を行う。	52,758,345	事務事業評価					排水機場の機能を適正に維持し、延命するために計画的にオーバーホール等を実施している。	県との調整により改修計画を作成している。	県発注による土地改良施設耐震対策事業により排水機場の計画的な改修を進める。			
	30102100		49,462,016	1	産業振興部 農政課									
	排水機場等維持事業		3,296,329	2	石川 恵史									
			30,950,616	3	高い									
			28,536,391	4	高い									
		2,414,225	5	普通										
		改善の効果		普通										

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)
事務事業名		事務事業の目的	内 直接事業費	4	有効性評価	内 人件費	5	効率性評価				
8	農業の振興		農地及び農業用施設等の自然災害を未然に防止し、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保全に資することを目的に、緊急に整備を要する、ため池、排水機及び排水路等の農業用排水施設の新設又は改修を行う事業を支援する。	70,791,592	事務事業評価					県営事業で行われる排水機場等の事業に対して地元との調整をした。	農地被害を防ぐため排水機場等の改修計画を進めた。	青尾新田地区については、平成26年度事業完了に向けて事業を進める。
	30102120			67,928,699	1	産業振興部 農政課	2,862,893	2	石川 恵史			
	緊急農地防災促進事業 (30102030,30102040,30102120)			39,272,663	3	高い	36,595,744	4	高い			
				2,676,919	5	普通						
									改善の効果			
9	農業の振興	土地改良施設の適正管理を図る。また、小規模災害等に適応することを目的として、土地改良施設の維持管理を行う。	3,454,935	事務事業評価					農政課と連携し、土地改良施設の適正な維持管理、樋門等の操作方法の確認、指導等が必要である。	樋門等の操作方法の確認、指導を行うことで、警報発令等の緊急時に対応することができた。	自治会等管理委託者に対し、樋門等操作方法の指導を強化し、緊急時における適切な対応を図る。	
	30102140		390,217	1	渥美支所 地域課	3,064,718	2	鈴木 義治				
	土地改良施設維持事業(渥美支所)		1,462,722	3	普通	396,011	4	普通				
			1,066,711	5	普通							
												改善の効果
10	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、排水機の降雨時の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器の修繕及び交換等を行う。	30,376,900	事務事業評価					適正に機能を維持し延命するため、定期的な保守点検や機器の修繕が必要である。	保守点検や機器の修繕を実施したことにより、施設の機能回復が図られ、農地等へのたん水被害が防止できた。	定期的に保守点検や機器の修繕を実施し、機場の適正な機能維持、長寿命化を図る。	
	30102150		23,932,323	1	渥美支所 地域課	6,444,577	2	鈴木 義治				
	排水機場等維持事業(渥美支所)		38,334,072	3	高い	27,232,756	4	高い				
			11,101,316	5	普通							
												改善の効果
11	農業の振興	たはら食育推進計画2016(平成23年度改訂)に基づき、市民、市や関係団体がそれぞれ主体となって様々な取組を行い、食育の普及・啓発を図る。	2,244,251	事務事業評価					たはら食育基本計画2016に定めた目標・目標値等の達成に向け、各分野のさらなる連携、食育の普及・推進が必要である。	関係各課が行動計画を立て、目標・目標値の達成に向け、計画に沿って食育の普及・啓発を行った。さらに、ワーキンググループ会議や検討会議を実施し、連携の促進、情報を共有した。	生活環境の変化に伴い、食生活のあり方、重要性が見直されている。それぞれの分野が一層の活動強化を図るとともに密な連携を行う必要がある。	
	30103010		489,272	1	産業振興部 農政課	1,754,979	2	石川 恵史				
	食育推進事業		2,252,269	3	高い	115,311	4	普通				
			2,136,958	5	普通							
												改善の効果
12	農業の振興	年間40万人を超える来園者の安全確保と魅力ある公園にするため、施設の維持管理・補修・改善を実施する。また、都市と農村の交流の場や地元農畜産物の振興の場として活用する。	105,112,174	事務事業評価					本市の農業や観光の交流拠点としての役割を担い、多くの来園者に収穫体験や手作り体験教室等を通して農業のPRを実施した。 ・田原市の農業をPRしていく施設として充実を図る必要がある。また、施設等の老朽化が進んでいるため、補修・改善を実施する必要がある。	大型遊具の修繕工事を実施し、来園者の安全確保に努めた。また、新しい遊具も設置したことにより、子どもの人気を集めている。 ・体験教室の開催回数を増やしたことにより、参加者数が増加した。	サンテパルク施設内の温室を有効活用し、野菜の生育状況を来園者に見てもらったり、温室等で取れた野菜を使って手作り体験教室を行う。農政課と連携を図り、花育や食育の推進を図っていく。老朽化した施設等については、優先順位をつけ、補修・改善をしていく。	
	30103020		43,625,747	1	産業振興部 農業公園管理事務所	61,486,427	2	大谷 和正				
	芦ヶ池農業公園運営事業		94,936,399	3	高い	47,838,364	4	高い				
			47,098,035	5	高い							
												改善の効果
13	農業の振興	イベントの実施やPR活動により、市民の憩いの場としての定着化や観光施設としての集客向上を図る。また、各種事業のイベント会場として活用する。	18,445,068	事務事業評価					ホームページやブログでイベントの確認をしてくれるリピーターが増加した。来園者への聞き取りの結果では、チラシや新聞広告の効果も大きい。今後は雑誌や新聞記事への投げ込みなど、無料の媒体を最大限に利用する必要がある。また、魅力のあるイベント等を開催し、田原市の観光をPRしていく拠点として充実を図る必要がある。	業者委託による子ども工作教室を自前で実施したことにより、コスト削減が図れた。 ・新聞記事となる情報提供や雑誌等への無料掲載など、無料でできるPRを活用するように努めた。	テレビは、PRの中でも効果が高く、かつ有効な手段であるため、花の開花状況等をリアルタイムに、テレビや新聞も含めたメディアへの情報発信に努めていく。また、来園者にアンケートを行い、ニーズに合ったイベント等の実施を検討していく。	
	30103030		6,828,020	1	産業振興部 農業公園管理事務所	11,617,048	2	大谷 和正				
	芦ヶ池農業公園PR事業		20,528,326	3	高い	6,402,337	4	高い				
			14,125,989	5	高い							
												改善の効果
14	農業の振興	農業経営の活性化を図るため、各種補助事業を実施し、営農に関するアイデアや省エネ技術を推奨することにより、地域農業の発展に寄与する。	100,706,413	事務事業評価					農業経営の考え方は多種多様であり、その中で全体の活性化を図るには、アイデア支援事業等による成果を関係農家へ広く普及啓発し、農家の意欲を高める必要があるが、成果の分析等が難しく、厳密な成果を確認し難い。	アイデア支援事業については、事業実施後の普及啓発を採択要件に加えたことにより、普及啓発を図りやすい体制となっている。その体制とリンクして成果等の分析を行い、普及啓発時での農家の反応についても成果として踏まえた。	各種補助事業の実施に加え、地域ブランド戦略策定業務の成果を参考に、田原市のブランドの価値を把握し、消費者の購買意欲を喚起する。	
	30104010		74,271,757	1	産業振興部 農政課	26,434,656	2	石川 恵史				
	農業経営活性化事業		55,362,411	3	高い	26,367,509	4	高い				
			28,994,902	5	普通							
												改善の効果

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H25決算額(円)	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
				5 効率性評価				
15	農業の振興	国の米政策に基づき、田原市地域農業再生協議会を通じて主食用米の生産数量目標の配分や情報提供等により、米の需給及び価格の安定と水田の有効利用を図る。	7,045,810	事務事業評価		・主食用米の生産数量目標の達成を目指すとともに、地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく地域振興作物等の栽培による食料自給率の向上を図っている。 ・国の補助事業を活用する事により、生産者の経営所得の安定化を支援する必要がある。	生産組合長を通じて制度の周知を図るとともに、制度加入の受付会を実施し、補助事業の活用を促した。	国の米政策については毎年内容の変更があるため、生産者に変更点を分かりやすく伝えていく必要がある。
	30104020		1,184,090	1	産業振興部 農政課			
			5,861,720	2	石川 恵史			
	戸別所得補償制度推進事業		7,755,094	3	高い			
			2,146,000	4	普通			
		5,609,094	5	普通				
							改善の効果	普通
16	農業の振興	・畜産の伝染病に関しては、発生農家はもとより産地としての大きなダメージに繋がる。 ・家畜の法定伝染病等の自衛防疫を推進するとともに、良質な畜産物を生産し、家畜飼養農家経営の安定と健全な発展を図る。	8,280,063	事務事業評価		伝染病は一度発生してしまうと、距離等の物理的条件により、容易に他へ感染してしまうことから、防疫対策は、市内畜産農家が同じ危機意識を持って一丸となって取組む必要があるが、農家によって意識や対応に差が生じているため、より高い防疫意識の高揚を図る必要がある。	防疫意識の高揚を図るため、研修会の開催や防疫ニュースの発行を行なった。さらに養豚に関しては、防疫対策の独自組織を立上げており、農家の防疫意識も高まっている。	・伝染病予防は農家の自己防疫が要となるため、田原市家畜防疫対策協議会と協力し、今後も農家の防疫意識の高揚を図る。 ・実際の防疫作業ではスムーズな初動体制ができるよう整備を図る。
	30104030		5,080,361	1	産業振興部 農政課			
	家畜伝染病予防支援事業		3,199,702	2	石川 恵史			
			8,100,170	3	普通			
			5,084,302	4	普通			
		3,015,868	5	普通				
							改善の効果	普通
17	農業の振興	農業者の老後に必要な農業者年金の給付に必要な諸届受付を行い、その老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業の担い手を確保し、農業の生涯所得の充実を図る。	4,069,946	事務事業評価		農業者の老後に必要な、農業者年金の給付に関する諸届受付を行い、その老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業の担い手を確保し、農業の生涯所得の充実を図る。	農業委員会だよりで制度を説明し、窓口でのチラシ配布により制度の周知を図った。	農業委員会だより・各種会議・制度説明会などを通して農業者年金の良さをPRし、農協や農業委員と連携して加入推進を図る。
	30104040		503,484	1	農業委員会事務局			
	農業者年金推進事業		3,566,462	2	菟田 尚史			
			1,224,046	3	普通			
			504,249	4	普通			
		719,797	5	普通				
							改善の効果	普通
18	農業の振興	畜産業の持続的な振興と畜産農家の経営安定を図ることを目的に、畜産業に関係する諸問題の解決に取組み、地域と共存する畜産経営環境を整備する。	19,942,080	事務事業評価		畜産由来の諸問題の解決を図ることにより、地域と連携のとれた畜産経営環境を整備し、畜産業全体の振興を図る。	平成24年度に引続き畜産農家の協力の元、悪臭対策の実証実験を行い、悪臭対策の効果と費用対効果の把握を行なった。	悪臭対策実証試験で得た効果等については、よりの確かな費用対効果を把握し、畜産農家への情報発信に努める。
	30104050		14,103,511	1	産業振興部 農政課			
	畜産振興事業		5,838,569	2	石川 恵史			
			15,146,144	3	普通			
			11,122,310	4	普通			
		4,023,834	5	普通				
							改善の効果	普通
19	農業の振興	農業者の高齢化が進む中で、やる気のある担い手に対して担い手育成支援事業を行い、人づくり及び連帯感の醸成を図るとともに、農業団体への指導及び助成を行い、地域農業の発展に寄与する。	13,474,466	事務事業評価		「新たな農業経営指標」の活用は、農業経営の改善・発展及び農業者の育成に非常に有効であり、多くの農業者がストレスなく取組むことができるよう、普及課及びJAと連携して適切な運用を行い、新たな認定農業者の育成を図る必要がある。	農業者が共通の課題解決のため、先進地への視察・研修等を行うことにより後継者育成につながる人づくりや農業者同士の連帯感が生まれ、さらに農業の新たな担い手作りを推進することで、地域農業の持続的な振興に寄与した。	普及課、JAと緊密な連携をとることにより、事務の効率化、情報の共有化をより一層図っていく必要がある。
	30105010		2,613,255	1	産業振興部 農政課			
	担い手支援事業		10,861,211	2	石川 恵史			
			10,245,519	3	高い			
			2,632,806	4	高い			
		7,612,713	5	高い				
							改善の効果	高い
20	農業の振興	農業生産における化学肥料、農業資材、農業等の使用による環境への影響を軽減し、環境保全と生産性の維持・向上との調和が可能な環境保全型農業を農業者、農業団体及び市が一体となって推進する。	40,362,562	事務事業評価		消費者が農産物に求める環境問題や安全・安心などに確実に対応し、低農薬栽培のクリーンな産地イメージを向上する必要がある。	生産現場での無農薬、適用外農薬使用禁止等の意識高揚に効果があり、消費者へ安全・安心な農産物を提供することが出来た。また、補助率についても関係機関や農家の理解の元、概ね50%以内を実現した。	過剰な補助とならないよう、関係機関と連携・調整し、さらなる事務の合理化、人的支援の削減等に努め、各種補助事業の補助率の妥当性について検討する。
	30106020		32,321,080	1	産業振興部 農政課			
	環境保全型農業支援事業		8,041,482	2	石川 恵史			
			34,110,324	3	高い			
			29,507,840	4	高い			
		4,602,484	5	高い				
							改善の効果	高い
21	農業の振興	畜産経営において、負担が大きい糞尿処理に対し施設改修等の支援措置を講ずることで、糞尿処理の適正管理及び畜産農家の経営安定を促進し、畜産業の健全な振興を図る。	5,839,364	事務事業評価		畜産農家の糞尿処理施設の改修並びに小規模農家等のエコセンター利用の促進を行ない、野積み、排水対策、臭気問題等を未然に防止し、経営安定を図った。	小規模農家の糞尿処理に欠かせないエコセンターの利用について、流通を促進させることで、更なる利活用の向上を図った。	本事業を持続的に実施し、エコセンターのさらなる流通、利活用の推進を図り、施設の老朽化についても対応できるよう検討する。
	30106030		3,183,000	1	産業振興部 農政課			
	家畜糞尿処理支援事業		2,656,364	2	石川 恵史			
			7,742,791	3	普通			
			5,418,000	4	普通			
		2,324,791	5	普通				
							改善の効果	普通

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)
	事務事業名		内 直接事業費	4	有効性評価			内 人件費	5	効率性評価		
22	水産業の振興	水産物の安定供給を目指し、「とる漁業」から「育てる漁業」への転換を図るため、漁業組合が実施する稚貝等放流事業を支援し、水産資源の増大を目指す。	10,317,987	事務事業評価					・全国的にあさりの漁獲量が減少している。 ・水産物の安定供給を目指し、「とる漁業」から「育てる漁業」への転換を図る必要がある。	自然環境の変化で、安定的な水産資源確保が困難な中、種苗放流事業は漁業経営の安定対策として有効に機能している。	水産物の安定供給を目的とした栽培漁業を積極的に実施し、水揚げ量の確保と商品価値の高いあさりの出荷を目指す。	
	30201010		6,594,000	1	産業振興部 農政課	3,723,987	2	石川 恵史				
	栽培漁業振興支援事業		11,206,669	3	高い	6,598,000	4	高い				
			4,608,669	5	高い							
改善の効果	高い											
23	水産業の振興	漁業者・漁業関係団体が漁業経営の活性化、漁場環境の改善を図るために行う「水産多面的機能発揮対策事業」に対し、国、県とともに支援し、漁場環境の改善を図り、漁業者の所得向上を目指す。	20,524,166	事務事業評価					水産業と漁村の多面的機能を発揮するため、漁業者・漁業関係団体が取り組む活動を支援している。漁業環境の改善を図り、漁業者の所得向上を目指す。また、非漁業者の団体等が行う漁場清掃を支援し、動植物の保護、環境保全意識の高揚を図る。	漁場の耕うん、有害生物の駆除等を実施し、漁場の美化、底質の改善等が図られた。また、漁場の清掃により、動植物の保護に寄与した。	・漁業経営の活性化のため、干潟等の地域資源の維持・回復を図る。 ・漁場の清掃活動を行い、動植物の保護、環境保全意識の高揚を図る。	
	30202010		14,024,268	1	産業振興部 農政課	6,499,898	2	石川 恵史				
	漁業者・団体支援事業		6,903,878	3	高い	1,525,365	4	高い				
			5,378,513	5	高い							
改善の効果	高い											
24	水産業の振興	姫島漁港の維持管理を委託し、良好な漁港環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	8,419,657	事務事業評価					利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。	
	30203010		8,190,282	1	都市建設部 維持管理課	229,375	2	大羽 清一				
	姫島漁港管理事業		8,425,326	3	普通	8,190,282	4	普通				
			235,044	5	普通							
改善の効果	普通											
25	水産業の振興	宇津江漁港の維持管理を委託し、良好な漁港環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	1,372,349	事務事業評価					利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。	
	30203020		913,599	1	都市建設部 維持管理課	458,750	2	大羽 清一				
	宇津江漁港管理事業		874,044	3	普通	639,000	4	普通				
			235,044	5	普通							
改善の効果	普通											
26	水産業の振興	漁港利用者が安全かつ快適に利用できるように市管理漁港施設の維持補修及び改良等整備を行う。	4,875,457	事務事業評価					・宇津江漁港海岸緑地施設が平成23年度の台風12号被害以降度々の台風被害により復旧事業が完了しないままの危険かつ利用できない施設となっている。 ・海岸緑地レクリエーション施設として利用再開が期待されている。	平成25年度の台風被害により従来施設が更に被害拡大、事業完了予定は遅延したが、施設の強化を図った改良復旧箇所では被害発生も無くその耐久性が確認された。	平成25年度の改良工法により被災箇所復旧を推進し、早期の復旧完了と供用再開を目指す。	
	30203030		2,730,000	1	都市建設部 土木課	2,145,457	2	大羽 剛志				
	漁港整備事業		47,709,794	3	極めて高い	44,389,800	4	高い				
			3,319,994	5	普通							
改善の効果	高い											
27	水産業の振興	市管理漁港の利用者が、環境・衛生面等で快適に利用できるように施設内にある公衆便所等の適正な維持・管理を行う。	6,684,728	事務事業評価					漁港利用者が安心・安全に漁港施設を利用できるよう維持管理に努める。	台風時に倒壊した浮桟橋や赤色標識灯などの修繕を早急に行うことで、漁港施設の良好な維持管理を行った。	老朽化の進む漁港施設の適正な維持管理のため、漁港機能保全計画を策定し、保全工事を視野に入れた漁港施設の維持管理が必要。	
	30203040		1,330,543	1	都市建設部 土木課	5,354,185	2	大羽 剛志				
	漁港管理事業		8,049,427	3	高い	2,542,370	4	高い				
			5,507,057	5	普通							
改善の効果	高い											
28	工業の振興	企業誘致を図るため、企業の立地動向を把握するとともに、企業誘致にかかわる関係機関と連携し、国内外に本市企業用地情報を発信する。	3,652,145	事務事業評価					・企業立地動向の専門機関と連携し、本市の地域特性等を活用しながら、将来性のある産業分野や技術革新を試みる企業に対して、分譲地や空工場に関する情報発信を展開している。 ・革新的技術や特許をインセンティブに付与する等、他地域と異なる誘致活動、或いは魅力ある誘致材料の補強が必要である。	・産学官連携、或いは大学連携によって革新的技術の開発や特許取得に向けた枠組みを形成した。 ・具体的技術開発、研究に取組み始め、数年以内の特許取得を目指し取組んでいる。	企業誘致に有効な多面的な材料を揃える取組を継続すると共に、企業・大学等と連携した結果を企業誘致に結び付ける取組を推進する。	
	30301010		593,660	1	政策推進部 企業立地推進室	3,058,485	2	大羽 浩和				
	立地戦略推進事業		7,855,887	3	高い	686,783	4	高い				
			7,169,104	5	高い							
改善の効果	極めて高い											

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H25決算額(円)	事務事業評価				
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
29	工業の振興 30301020	本市の産業振興と地域活力を増進するため、臨海部に企業の誘致を図るとともに、東三河5市が連携した企業誘致の活動を行う。	19,846,015	事務事業評価		・臨海部分譲地に企業の誘致を図り、地域雇用や税収の確保に繋がる事業を東三河4市を巻き込んで展開している。 ・各種誘致イベントは、企業誘致の推進を図ると共に地域資源の魅力発信等にも努めている。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	誘致活動事業		7,201,999	1 政策推進部 企業立地推進室	2 大羽 浩和			
30	工業の振興 30301030	田原市企業立地奨励金交付要綱等に基づき、進出企業の初期及び拡張投資の支援を図り、本市への企業立地を促進する。また、臨海部に立地した企業で構成する田原臨海企業懇話会の活動支援を行う。	1,557,593,089	事務事業評価		・新規立地等の企業に奨励金制度を適用し、立地し易い支援策で新規立地を推進している。 ・立地企業のサポートと共に操業状況などの把握に努め、事業所の移転や縮小などの動向に注視し取組んでいる。	沿岸立地を回避する企業立地の動向の中、蒲片区画整理組合と連携した支援策の拡充により立地相談件数が伸びている。	新規企業の立地動向や必要に応じて、本市支援策の拡充に努める。
	立地誘導・活動支援事業		1,555,457,276	1 政策推進部 企業立地推進室	2 大羽 浩和			
31	工業の振興 30302010	重要港湾三河港の整備・振興を図るため、国・県・関係団体への要望活動、振興PR事業の実施や自動車港湾としての特性を高める諸活動を行う。	9,117,099	事務事業評価		港湾機能の拡充整備に向け、補助事業の指標となるコンテナ取扱量の拡大に向け、新規荷主及びコンテナの確保に取組んでいる。	企業主体の幹線道路会議等の開催や国、県に対する要望活動により、港湾背後圏の道路アクセスが改善(臨港道路の渋滞改善、R23号BPの早期開通など)している。	・コンテナ取扱量を確保するため、地元企業に限らず西三河、或いは静岡県等から新規荷主を確保に努める。 ・ロシア航路を活かした新事業を推進する。 ・直行輸送できる外貿航路の拡大に努め、利便性に応じた企業誘致に努める。
	三河港振興事業		5,404,138	1 政策推進部 企業立地推進室	2 大羽 浩和			
32	商業の振興 30401010	商工業の振興を図るため、中小企業者が運転資金等を円滑に確保できるよう、愛知県と協調して市内13店舗の金融機関に資金を預託するとともに、融資を受けた際の利子補給を行う。また、6次産業化・農工商連携を積極的に推進することで、地域産業の活性化を図る。	114,964,004	事務事業評価		・地域経済の持続性を高めるため、中小企業者が行う地域資源を活かした新たな事業展開の取組を促進していく必要がある。 ・引き続き、中小企業者は厳しい経営環境にあることから、今しばらくはセーフティネットを継続する必要がある。	・6次産業化起業塾や6次産業化・農工商連携事業モデル構築支援事業により、地域の農畜水産物を活用した事業展開を支援した。 ・商工金融利子補給の補助率の維持を図った。	引き続き、6次産業化等の活動を促進するとともに、中小企業者による、新たな業態開発や設備投資等のチャレンジを促進する。
	中小企業活性化支援事業		107,896,666	1 産業振興部 商工観光課	2 鶴飼 直行			
33	商業の振興 30402010	・中心市街地の魅力を高めるためのソフト事業、ハード事業等を検討、実施して、「田原市の顔」づくりに努める。 ・賑わいイベントを実施して中心市街地への集客力の向上を図るとともに、地域でのまちづくりを担う人材、組織の育成を図る。	10,027,113	事務事業評価		・中心市街地の魅力を高め、集客力の向上を図るため、地域の商店を巻き込んだ賑わいイベントが必要である。 ・民間主体の賑わいを創出する取組を、さらに発展させていく必要がある。	・賑わいイベントへの地域の商店の参加を促し、回遊性のあるイベントとなるよう取組んだが、商業の活性化まではむすびついていない。 ・民間主体のまちおこしの取組が始まり、参加する商店が増えたことで、商店同士の連携も生まれてきた。	・地域でのまちづくりを担う人材、組織の育成をかねて、商店をまきこんだ賑わいイベントへの転換を図る。 ・賑わいイベントや民間主体の取組の認知度をさらに高め、参加店舗や参加者数を増加させる。 ・中心市街地の魅力を高めるためのハード事業、ソフト事業等を検討し、実施していく。
	中心市街地活性化推進事業		5,083,229	1 都市建設部 街づくり推進課	2 柴田 高宏			
34	商業の振興 30403010	市内中小企業者の経営の改善を図るため、その指導機関である田原市商工会及び渥美商工会に対して助成を行い、中小企業者の指導育成を行う。また、安全で快適な環境を保つとともに、中心市街地の活性化を図る目的を以って、街路灯の維持管理費や商店街の催事、共同宣伝への助成を行う。	53,946,092	事務事業評価		現状では田原・渥美の2つの商工会、カード事業組合となっており、それぞれの活動に差異があることから、市が一体となった産業振興施策の立案が課題となっている。	・補助事業の適正化を図るため、補助内容の精査を行った。 ・両商工会・カード事業組合の一体的な活動を促進するため、各事務局との調整会議を実施した。	両商工会・カード事業組合の会員相互の交流を図り、将来的な一体化の機運を醸成するため、共同事業の実施等を促進する。
	商業団体支援事業		48,706,980	1 産業振興部 商工観光課	2 鶴飼 直行			
35	観光の振興 30501010	田原市内における観光事業を推進することで、国内外からの誘客を図る。また、地域間交流の拡大と広域観光の推進を図るため、愛知県観光協会、東三河広域観光協議会等に参画する。	33,669,954	事務事業評価		・観光産業の振興による交流人口の拡大は不可欠であることから、近隣自治体との連携を図りながら、多様な観光客のニーズに対応する観光メニューの造成を図る必要がある。 ・観光受け入れ体制づくりのため、観光事業に携わる人材育成を図る必要がある。	・広域観光の推進を図るため、東三河、環三河湾、伊勢志摩地域の自治体との共同事業等の取組を進めた。 ・観光の担い手づくりとして、観光ボランティアの育成、伊良湖地区の観光事業者の組織作りを行った。	・観光基本計画の実効性を高めるため、アクションプランを重視した観光基本計画の改訂を行う。 ・GOGO三河湾事業や鳥羽市との連携事業など、広域観光の一層の活性化に努める。 ・観光事業者等との連携を図りながら新たな観光メニューの造成などに取り組む。
	観光推進事業		21,536,090	1 産業振興部 商工観光課	2 鶴飼 直行			

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
事務事業名			H25決算額(円)	事務事業評価				
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	事務事業評価				
			内 人件費	3 妥当性評価				
			内 直接事業費	事務事業評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
			内 人件費	事務事業評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
36	観光の振興	道の駅(田原めつくんはうす、あかばねロコステーション、伊良湖クリスタルポルト)及び田原駅(新駅舎情報交流室)を適正に管理運営することで、田原に訪れる観光客の利便を図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	24,295,307	事務事業評価		・観光客に対するイメージ・サービスの向上を図るため、老朽化した施設及び機器の補修や更新を計画的に行う必要がある。 ・観光客及び市民に対する道の駅の役割等を見直し、新たな魅力付けを検討して必要がある。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	30502010		19,615,187	1	産業振興部 商工観光課			
	観光情報サービスセンター運営事業		4,680,120	2	鶴飼 直行			
			32,204,551	3	高い			
			28,288,813	4	高い			
	3,915,738	5	普通					
37	観光の振興	太平洋、三河湾が一望できる蔵王山展望台利用者の利便の向上を図るため、平成6年4月に建設した蔵王山展望台施設(鉄骨造4階建)、及び展望台周辺の園地等の適正な管理運営を実施する。	19,387,012	事務事業評価		施設の老朽化、テナントの退店、樹木の繁殖による景観阻害等により蔵王山展望台の魅力が低下していることから、施設・周辺環境の修繕・更新等を行い、田原市観光の導入部としての魅力の向上を図る必要がある。	蔵王山展望台のエレベーター、照明器具等の更新を行うとともに、施設・園地等の適正な管理を行った。	引き続き、施設・園地の適正な管理運営を行うとともに、施設の改修と併せ、集客力の向上に資する観光メニューの開発に取り組む。
	30502020		15,303,983	1	産業振興部 商工観光課			
	蔵王山展望台運営事業		4,083,029	2	鶴飼 直行			
			68,231,042	3	高い			
			64,059,584	4	普通			
	4,171,458	5	普通					
38	観光の振興	環境対策のシンボルとして、平成13年に蔵王山展望台に整備した風力発電施設(定格出力300KW、想定発電量65万KWh)が正常に稼動するよう適正な維持管理を実施する。	14,870,438	事務事業評価		風力発電施設の適正な管理運営を図るとともに、老朽化による機器の計画的な保守・更新を行う必要がある。	機械部品・電気部品等の点検・更新を実施し、年間稼働日数の拡大に努めた。	・発電施設の稼働年数の延伸を図るため、計画的な機器の更新に努める。 ・現状ではメーカー以外で保守・管理業務が行えないため、地元業者による保守業務の業務範囲を拡大することで、管理費用の縮減を図る。
	30502030		12,205,831	1	産業振興部 商工観光課			
	蔵王山展望台風力発電運営事業		2,664,607	2	鶴飼 直行			
			7,044,741	3	高い			
			4,854,496	4	普通			
	2,190,245	5	普通					
39	観光の振興	城下町文化の粹である山車・けんか凧を展示紹介する田原まつり会館を適正に管理運営することで、田原の伝統文化である田原祭り、田原凧のPRを図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	8,475,817	事務事業評価		施設の適正な維持管理を図るとともに、施設の効果的PRを実施し、観光客の増加を図る必要がある。	施設の保守点検、警備など適正な管理運営を行った。	施設への集客効果を高めるため、他の観光資源と連携した周遊コースの設定など、効果的なPRを検討する。
	30502040		3,528,275	1	産業振興部 商工観光課			
	田原まつり会館運営事業		4,947,542	2	鶴飼 直行			
			6,393,021	3	普通			
			3,473,282	4	普通			
	2,919,739	5	普通					
40	観光の振興	サーファー、観光客等、太平洋ロングビーチ観光便益施設(管理棟、多目的トイレ1基、男子更衣室:トイレ5基(小3基・大2基)、温水シャワー3基、女子更衣室:トイレ4基、温水シャワー3基)利用者の利便を図るために適正な維持管理を実施する。	4,102,913	事務事業評価		施設の適正な維持管理を図るとともに、施設の効果的PRを実施し、観光客の増加を図る必要がある。	施設の定期点検、清掃管理など適正な管理運営を行った。	施設のPRを図り、利用率の向上を図る。
	30502050		3,404,708	1	産業振興部 商工観光課			
	ロングビーチ管理棟管理事業		698,205	2	鶴飼 直行			
			4,370,154	3	普通			
			3,744,306	4	普通			
	625,848	5	普通					
41	観光の振興	観光地の公衆便所、駐車場、園地等を適正に維持管理することで、観光客等の利便を図る。	16,749,827	事務事業評価		・本市の観光イメージの向上のため、観光地の清掃や便益施設等の適正な管理を行う必要がある。 ・観光トイレは施設ごとに利用率に大きな差があるため、施設の集約化を図るとともに、利用率の高いトイレのグレードアップにより、観光客の快適性の向上と施設管理の効率性の向上が必要となっている。	・観光トイレ、駐車場、園地等の清掃、草刈、剪定等を行い、観光客の利便性と快適性の向上に努めた。 ・県補助事業により、海水浴場への海岸漂着物の回収処理を行った。	・利用率の低い観光トイレを撤去すると共に、利用率の高い観光トイレに関しては洋式化やグレードアップを図る。 ・園地等は植栽木の定期的な剪定等により快適な環境の維持に努める。
	30502060		13,564,581	1	産業振興部 商工観光課			
	観光トイレ等管理事業		3,185,246	2	鶴飼 直行			
			17,379,335	3	高い			
			14,806,242	4	高い			
	2,573,093	5	低い					
42	観光の振興	田原市の観光魅力度の向上を図るため観光施設の整備拡充、修繕等を実施することにより、観光誘客及び観光客の利便を図る。	23,927,710	事務事業評価		本市を訪れた観光客の立ち寄り場所の拡大や滞留時間の延伸を図るため、観光施設の計画的な改修や整備を行い、本市観光の魅力を高める必要がある。	・恋路ヶ浜、日出園地、仁崎海水浴場等の老朽化していた施設の改修・撤去を行い、観光客の快適性・安全性の向上を図った。 ・蔵王山展望台施設の魅力向上のためのリニューアル計画の策定、蔵王山観光道路や山頂付近の雑木の抜倒・剪定等を実施した。	・観光地の魅力向上のため、引き続き、観光地の施設の計画的な更新を図る。 ・観光基本計画の策定作業を通じ、地域資源の活用など新たな観光資源の造成について検討する。
	30502070		22,043,725	1	産業振興部 商工観光課			
	観光施設整備事業		1,883,985	2	鶴飼 直行			
			50,328,389	3	高い			
			43,266,195	4	普通			
	7,062,194	5	普通					

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名			
	事務事業名		内 直接事業費	4	有効性評価	内 人件費	5	効率性評価			
43	観光の振興	魅力ある観光まちづくりを推進するために渥美半島観光ビューローの支援を行い、官民協働による観光及びレクリエーションの活動の振興を図る。	69,574,895	事務事業評価					・観光産業だけでなく、他業種の事業者を加入するなど会員を拡充し、他産業との連携を図っている。 ・会員の経営はもとより、地域産業の活性化につなげることが課題となっている。	・官民協働により観光客の増加に繋げるイベント等を実施した。 ・他産業との連携による観光メニューの造成を図った。	観光ビューローの事務局機能の強化及び自主財源等の拡大等を支援する。
	30503010		48,000,000	1	産業振興部 商工観光課	21,574,895	2	鶴飼 直行			
	観光団体活動支援事業		61,360,697	3	高い	50,000,000	4	普通			
			11,360,697	5	普通						
44	観光の振興	市民まつりを開催する田原市民まつり推進協議会の活動を支援することで、市民相互の融和と市民意識の高揚を図る。(平成15年度から平成25年度で11回目)	26,280,998	事務事業評価					事業実施に伴い、来場者や市民との融和を図るなど、来場者からは概ね好評は得ているものの、一部の参加者出展者からは、イベントへの参加が負担との声があるため、事業運営等の改善が必要となっている。	市民まつり研究会を立ち上げ、市民まつりのあり方、方向性について検討し、企画提案型で方針決定した。	市民が主体的に参加しやすい形で市民まつりの再構築を図るとともに、実施効果を評価し、今後の実施方法の検証を行う。
	30503020		13,000,000	1	産業振興部 商工観光課	13,280,998	2	鶴飼 直行			
	市民まつり支援事業		20,028,774	3	高い	11,159,424	4	高い			
			8,869,350	5	普通						
45	観光の振興	サーフィン世界大会を開催する実行委員会を支援することにより、田原市の魅力を世界中に発信するとともに海岸環境の美化活動を推進する。	3,226,198	事務事業評価					サーフィン世界大会の開催により、多くの国・地域の人が田原市を訪れる機会が拡大につながるとともに、インターネット等を通じ広く情報発信が行われることで、田原市のイメージ・知名度等の向上が図られている。	引き続き、サーフィン世界大会実行委員会の事業を支援し、田原市の知名度向上に努めた。	平成26年度はスポンサー確保の問題から本市での世界大会開催が困難となっており、今後のサーフィン大会の開催方策について検討を行っていく必要がある。
	30503030		3,000,000	1	産業振興部 商工観光課	226,198	2	鶴飼 直行			
	サーフィン世界大会支援事業		3,370,977	3	普通	3,000,000	4	高い			
			370,977	5	普通						
46	観光の振興	トライアスロン伊良湖大会を開催する実行委員会の活動を支援し、大会開催を地域の産業振興とスポーツ振興を図り、会場となる伊良湖岬周辺の魅力発信と地域の活性化につなげる。	23,301,898	事務事業評価					・地域産業の振興を図り、魅力ある大会を実施するため、地域民間団体に大会運営を委託している。 ・より地域産業に寄与する大会とするため、またスポーツ振興につなげる大会とするため、実行委員会内で事業を検討していくことが必要である。	・大会運営を地域のNPO団体に委託し、行政主導や業者任せでない、地域の主導による大会運営を実現した。 ・民間団体が運営することで、協賛金も増額し、大会内容の充実が図られ、魅力度が向上した。また参加者からの評価も高かった。	・引き続き、NPO団体の大会運営をサポートしつつ、ボランティアスタッフが実施している準備・片付け作業を地域業者に委託し、大会運営費を地域内で循環させる。 ・より地域産業に寄与する大会とするため、選手だけでなく家族や観客向けの事業を検討していく。 ・地域のスポーツ振興へもつなげるため、オリンピック選手の合宿誘致等の事業を検討していく。
	30503040		13,000,000	1	教育部 スポーツ課	10,301,898	2	大羽 耕一			
	トライアスロン大会支援事業		19,028,136	3	高い	11,000,000	4	普通			
			8,028,136	5	普通						
47	労働環境・消費生活の充実	市内に在住する勤労者への資金の融資を円滑にし、生活及び福祉の向上を図るため、東海労働金庫豊橋支店に資金を預託するほか、勤労者の団体が実施する福祉事業への助成を行い、勤労者の健康の増進と福祉の向上を図る。	21,708,636	事務事業評価					融資制度に関しては、一定の利用が図られている。また、補助制度等は他市とも協調しながら実施している。	引き続き、支援制度等の適正な運用に努めた。	関係自治体とも調整を図りながら、補助制度の運用方法の見直し等に努める。
	30604010		20,715,500	1	産業振興部 商工観光課	993,136	2	鶴飼 直行			
	勤労者支援推進事業		21,810,869	3	普通	20,657,400	4	普通			
			1,153,469	5	普通						
48	労働環境・消費生活の充実	田原市地域職業相談室において、求職者への求人情報の提供を行うほか、求人企業の求人申込の受付を行うことにより、求人求職業務窓口の充実を図る。また、雇用情勢が引き続き厳しい状況を踏まえ、緊急雇用対策を実施し、雇用の場の確保を図る。	30,968,137	事務事業評価					・当地域は全国水準と比べ、比較的高い求人倍率で推移しており、一時期と比べると雇用環境は安定しつつある。 ・今後は、高齢者や女性など新たな働き手の開拓が課題である。	田原市地域職業安定所の運営を支援するとともに、緊急雇用創出事業4事業を実施し、雇用創出に努めた。	当地域の主力産業である農業分野における雇用等を働きかけ、高齢者や女性などの働く場の拡大に努める。
	30605010		24,766,002	1	産業振興部 商工観光課	6,202,135	2	鶴飼 直行			
	雇用推進事業		30,223,585	3	高い	23,605,317	4	低い			
			6,618,268	5	普通						
49	労働環境・消費生活の充実	地域住民の健全な暮らしや生活の向上、消費者問題意識を高め、消費者トラブルの防止を図る。また、金融広報活動及び消費者教育活動の促進を図る。	4,912,937	事務事業評価					・消費者相談窓口や弁護士による法律相談により相談業務を実施するとともに、消費生活講座や生活学校の活動を支援し、市民の消費に係る知識の向上を図った。 ・消費者相談業務は、広域連合への移行が予定されているが、東三河域内に専門的な知識を有する相談員が少ないため、相談体制の構築が課題となっている。	相談窓口の設置日・会場等の見直しを図ったが、利用率の大きな変化はなかった。	・平成27年から消費者相談業務を順次広域連合へ移管していくため、当面は、現在不足している消費生活専門員の育成を東三河の他市町と協力しながら行っていく。 ・平成26年度より、広域連合への移行準備として専門員を配置した相談窓口の設置を行う。
	30606010		1,232,725	1	産業振興部 商工観光課	3,680,212	2	鶴飼 直行			
	消費者支援推進事業		5,358,799	3	高い	801,321	4	低い			
			4,557,478	5	普通						